

退職者 NO.78

こだま会報



老人の怒りを 大きな力に

目次

- コラム「散歩道」…… ①
- 楽しい趣味の会 …… ②
- こだま俳壇／予告 …… ③
- 会員紹介
「河合幹彦さん」…… ④
- 病気になっても
入院できない？ …… ⑤
- 高齢者大会
参加者の声 …… ⑥
- 元気なうちに老老
介護のステージを …… ⑦
- 投稿「収穫時の感触」
／質問コーナー
全国自治体退職者連絡会
総会／ご案内他 …… ⑧



お月様、お先にごめんなさい (雨宮和雄さんの作品)

散歩道

2005年元旦に奥州街道の宿場、神社、仏閣を尋ねて歩く計画を立て1月9日、日本橋から深川宿へ。富岡八幡宮に立ち寄り千住宿に向かった。栃木県石橋町にある、阿弥陀院開雲寺の行事、山伏の荒行を見物、山伏の読経と火勢の迫力に圧倒され、無病息災を願って宇都宮宿へ。

街道は民家も少なく、

田畑の中を黙々と歩き白澤宿へ。各戸の門柱には、かご屋の会舟屋、本陣などの表札が掲げられ昔の風情を残していた。また白澤宿七福神建立の奉賛者を募っていたので、少ない額を寄付した。後に氏名が載った奉建立の冊子が届き嬉しくなった。

鬼怒川を渡り喜連川宿へ。佐久山で予約した旅館が街道から離れて2時間もロスしてしまい、宿に着いたのが7時で疲

れはピークに達した。翌日、御殿山公園佐久山城址跡を散策。

大田原宿から越堀宿へ。道中初めて温泉に泊まる。芦野温泉は薬効があるらしく首都圏から大勢来ていた。翌朝目覚めると雨が強く降っていた。朝食を食べ一時待機し、幸い天気予

奥州街道250kmを歩く

労働部OB 菅野 健児

報は午後には回復するとの予報を信じ、雨具を着て芦野宿へ向かった。街道界隈には、菅野氏陣屋裏門、歴史探訪館、屋号のついた石燈籠が各門前に43燈が建てられ、奥州街道の風情を残していた。

白坂宿に入る国境は、現在、栃木県と福島県の県境ともなっているが、そこには境明神が二社建立され、栃

木県側玉津島神社、白河側に境の明神と二所の関があり、白坂宿には街道の両側に家数66軒があったといわれ、飯盛女を抱える旅籠屋が多く賑わったそうだが、現在は旧街道の宿場の面影はないが、地域の人達は今でも屋号で呼び合っていた。

小峰城(白河城)を観て、小田川宿へ、この宿の豪邸は300年の歴史があるといわれている。笹石宿から須賀川宿へ、この宿には芭蕉記念館があり入館と周りを散策した。そして郡山宿へ、当時郡山は水不足が問題となっていて、享保6年(1713年)

に皿沼の水を飲用や防火用利用したいと願い出、翌年6月に完成させたことが宿碑に示され、当時の名残として現在も水を流している。

福島県の本宮宿まで踏破した。7泊と17日、歩行約250km(道路標示と歩数計から。歩幅45cmとして)。



プロの手ほどきも受けました

自治労連の全国囲碁将棋大会が7月6日、湯河原町で行われ、囲碁の部でこだま会囲碁同好会チーム(奥村貴聡さん・岸邦彦さん・登豊吉)は全国5位になりました。優勝は愛

囲碁の部で5位に
自治労連囲碁将棋大会

会 碁 会
ま 碁 好
だ 碁 同

楽しい趣味の会
「趣味の会」は長生き
の散歩道



一緒に
歩きましょう

知混成チーム、準優勝は吹田市職労、3位は山口混成チームでした。こだま会囲碁同好会チームは、大槌町職(岩手)、横手市職労(秋田)にそれぞれ3勝0敗で勝利。しかし四国混成チーム、山口混成チームにそれぞれ1勝2敗で負け、チームとしては2勝2敗でしたが、チームの

景観と果実の味を堪能
ブルーベリー狩り

8月7日(火)、猛暑のなか「ブルーベリー狩り」の援農に行ってきました。参加者は12人。

大井町の「ブルーベリーの郷・旭」は、山ふところの杉林を開いた所。休憩小屋からの眺めは、海の果てに真鶴半島を望むすばらしいものでした。早速、手籠を持って、摘み取りに挑戦。でも暑いので早々やめて、もっぱら風の通る休憩所の庭で、景観と果実の味を楽しみました。

この農園は画家志望の小宮さんがUターンしてつくり、自然と芸術の一体をめざしており、果実の収穫とともにピザを焼く石釜や野焼きの陶芸、コンサートのミニ舞台まであり、楽しそうです。

午後、バスの時間を待つ間に小宮さんの父上から、昭和9年に自家の

総勝ち数が他の2勝2敗チームよりも多く、からくも5位になりました。来年は自治労連創立15年という記念すべき大会です。来年も県大会、関東甲越ブロック大会を勝ち抜き、ぜひ全国大会に出場し、3位以内をめざしたいと思います。(登 豊吉)



真つ赤になっていました。

(木村武子)

平清盛をめぐる
女性の明と暗

教室 歴史 講義

9月10日(月)、天候不順ながら13人出席。

源頼朝拳兵(34歳)の翌年の1181年、平清盛死亡(64歳)。清盛は、

①遷都(兵庫福原) ②東大寺(仏敵、四男重衡が放火) ③天皇(後白河法皇の幽閉) ④女性(祇王、仏御前とも)に出家。京都嵯峨野「祇王寺」で修行後、同寺に眠る。

『平家物語』に登場する出家した者たちは、一大決心をして出家(暗)してみても、捨てたはずの権力や金や異性に対する未練は残るし、自分を追い落とした者に対する恨みも残る。多くはこうした迷える人間たちである。

祇王の出家は、純粹な宗教的情熱からとは言い難かった。仏御前は、祇王の没落に自分の未来を見て、現世の栄花のはかなさを感じて出家したものであった(両者とも清盛の寵愛を受けた)。

ここには女性の浮沈を握る権力者としての男に対する拒否の姿勢がある。富も権力も名誉も着物も食物もセックスも、すべて男から与えられる虚飾にすぎないと感じた時、それらをすべてなげうち、その向こうには仏(明)の世界がある。

あらゆる人の「浄土往生」、六道の世界として「天界・人間界・修羅道・餓鬼道・畜生界・地獄界」がある。人間は生き、修行に励み、「皆往生の素懐をとげ」、来世では仏の世界に生まれ変わることを願う。

(佐藤喜治)

「こだま俳壇」(9月)

墓掃除あとに繋がる村の顔

鳥海 敏雄

きのご狩鹿の死骸の謎めいて

井村 友彦

秋祭り綿飴つまみ子等はしやく

木村 武子

夕立の後や蜘蛛の巣揺れ光る

白井保次郎

妻の留守冷汁啜る猛暑かな

白石 為康

新涼や夜の帆船神楽舞

三井 光子

箸一膳人という字に置き昼寝

高橋 和江

逝きし犬のせてやりたや三日の月

中村 桂子

身を粉にし母まだら痴け終戦日

湯川 勉

ベチュニアの一輪残り夏は行く

鈴木志げ子

聶耳忌江の島の潮寄せてくる

横川美代子

青ぶどう葉の間引きする農体験

島田多嘉子

鹿垣に乱杭を打つ狭農婦

小川 水草

涼新た進水式を待つ巨船

山本つぼみ

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(散策)

テーマ 三浦氏の跡を追って

衣笠城跡等

とき 11月5日(月)

集合 JR「衣笠駅」

改札口前10時

昼食 弁当、各自持参

コース 衣笠城跡から満昌寺・満願寺ほか

参加費 500円、ガイド・中村猪一郎会員

申込先 電話・FAX045(361)0112(佐藤喜治)

●俳句教室

毎月第3木曜日午後、こだま会事務所で開催。春と秋の吟行(旅先での句会)もあります。初心者も大歓迎。楽しい句会です。

指導 山本つぼみ先生(阿不利嶺主宰)

会費 500円

とき 第3木曜日13時~16時(11月15日・12月20日・08年1月17日・2月21日)

場所 こだま会事務所

申込先・問合先 電話042(742)2253(小川正則)



●囲碁同好会

とき 毎月第1日曜日11時~(11月4日・08年1月6日・2月3日)

ところ 囲碁サロン「有心」(横浜駅西口太陽ビル6階)

会費 700円

申込先 電話045(782)7665(青沼慶祐) / 045(824)7155(登 豊吉)

●こだま会囲碁大会

とき 12月2日(日) 10時

ところ かながわ労働プラザ会議室(関内下車)

会費 1000円

申込 11月26日(月)までに「氏名」「段級位」「電話番号」を次の幹事又は県職労連へ。登045(824)7155 青沼045(782)7665 県職労連045(212)3179

☆初心者から有段者まで楽しめます。ご家族、お孫さん、友人を誘ってぜひご参加を。

なお、当日は同会館で「プラザフェスタ」が行われ、展示会、コンサート、フリーマーケット等の催しがあります。

●食文化を楽しむ会

とき 11月22日(木)11時~15時30分

ところ 横浜市西地区センター(相鉄平沼橋駅下車。平沼高校ウラ)045(314)7734

テーマ 風邪予防の薬膳料理

講師 上野多恵子会員

会費 1800円

申込先 945(212)3179(こだま会事務局)045(332)4601(亀井禎子)

●スキー旅行

ダイヤモンドグストの舞う北海道富良野で滑ろう。

とき 08年1月28日(月)~1月31日(木)

宿泊 新富良野プリンスホテル

〒076-0001 富良野市中御料 TEL0167(22)1111

費用 62900円(往復飛行機代・バス代・ホテル3泊・朝食3・夕食3・保険付)

定員 30人(先着順)

申込 11月30日までに次の口座に費用を振り込んでください。これが参加申込となります。口座郵便貯金総合通帳記号10260番

号153217281 叶井進一。〒245-0016 横浜市泉区和泉町5304 電話045(803)3713(叶井進一)





2005年3月に定年退職しました。再雇用は条件に全く合わなかったため、あっさりご辞退しました。

死ぬまでまだ20〜30年ありそう。「明日に道を知らば夕べに死すとも可なり」とかなんとか、誰か言っていた。短いようで長いようで、はてさて寝て暮らそうか…。

私の絵の友人達は人生の大先輩が多いので、さすがに涙の出るようなアドバイスくれましたね。あなた絵を描きなさい、描かなきゃもつたないよとか、あなたの絵は売れるか



モレのスケッチ

ら、定年後はプロの画家としてやってみなさい、云々…。お金もらって喜んでもらえるわけですから、こんなやりがいのあることないでしょうね。そんなわけで、現在は自称「水彩画家」なのですが、あくまで描けばの話です。

定年後はムシヨク透明の水彩画家に

河合幹彦さん



スペイン灼熱の午後、GFと

も貯まってしまい、心苦しい限りです。

絵の会「梅香会」を運営

40歳代の時、商工指導センターのデザイン指導室にいきました。そこにグラフィックデザイン専門の優しく美しいお



雪の日のシャトル

生まれつき呑気な性格に加えて、雑用に追われてなかなか描けません。雑用というのは、育児のない家事すべてに、某マドンナファンクラブの幹事とか、親の介護とか、筋トレとか、妻やGFとの旅行とかダンスとかですが。注文された絵がもう何枚

姉様がいて、県庁絵画部(当時のマネエ会)に入会しないかと誘われ、私は美しい女性には弱いので二つ返事でOKしました。私は仕事を楽しむ方で、どの職場でも得たものが多かったですが、とりわけデザイン指導室時代は

楽しく美人も多く、多くの友人ができた所です。職場の内外を問わず、今でも飽きもせずその頃の美人達と付き合ってます。

したがって、この絵の会との腐れ縁は今でもずっと続いていて、県庁の方と協力して運営しています。現在は現役の会員が少なく、民間の人の方が多くなり、名称も『梅香会』

と変えましたが、年1回、2月末に『春の絵画展』というグループ展を必ず開催しています。ちなみに、会費はわずか、年間2千円。

月1回スケッチ会も開催し、時々宿泊でスケッチ旅行にも行きますし、初心者にもご指導しています(絵を描きたいという方がおられたら、是非河合までご一報下さい)。

4月にはパリと近郊のスケッチ

今年の4月には、会員4名を含む総勢7名で、パリと近郊のスケッチに行ってきました。フランスへ絵を描きに行ったのは、私はこれで5〜6回になるかと思えます。きっかけは展覧会場へ来てくれた伊豆の絵描きさん(この人は、パリ在住20年以上で、たくさん賞を取っている大画家です)と知りあい、連れて行ってもらったからです。最近はその方

7月の参議院選挙による「与野党逆転」という新たな情勢を受けて「凍結」の声も聞かれ始めた後期高齢者医療制度。9月17日から18日、横浜で開かれた第21回日本高齢者大会ではこれが最大の課題として論議。新井通子さんのレポートをお届けします。



第21回日本高齢者大会

これは75歳以上の高齢者がすべて集められ、個人単位で保険料を負担し、医療を受ける際にはさらに1割を負担するというものです。現役並みの所得がある人は3割とされています。保健加入申請や相談など、窓口業務と保険料徴収は市町村が担当しますが、制度の運営は都道府県ごとに設置された「後期高齢者医療広域連合」が主体となり、保険料率や軽減措置などを決めます。

これに対し、給付される医療の内容がまだまだ具体的に説明されておられません。審議会での討議内容や厚

健診のあり方が大きく変化

一方、生活習慣病対策が強化され、健康診断のあり方が大きく変わります。

現在、退院後再入院せず看取ると10万円が加算されることになっており、最後の保険として生活の場でのケアが基本と報告されています。

このように、とにかく病気になるように、病気になるようになってい

るのか。成り行きに任せるのではなく、地域ごとに明らかにしていく必要があります。

(新井通子)

病気になるっても入院できない!? 「医療制度」構造改革」と高齢期運動の課題

来年4月から医療費の大幅切り捨てをめざして、「後期高齢者医療制度」が始まります。

労省の高齢者施策から推測すると、かなり厳しいものになるでしょう。

「高齢者の心身の特性にふさわしい診療報酬」といわれていますが、これは病状が安定している・変化が少ないというところから導き出されるのは検査しない・診察をしない・点滴の量を制限し、早目の退院を促すなどです。

対象は40歳以上、若い時から健康に対する自己責任を追及されます。

国民健康保険・その他の健康保険に対しても、負担する後期高齢者医療への支援金を被保険者の健診受診率によって増減する制度が導入されます。受診率が33%を超えると支援金が10%減額され、達成できないと10%加算されるというものです。

も高齢になり、私が企画してその画家を連れて行くようになったので、ついでに我が会の会員も、お連れしただ次第です。

パリの街角は、絵になる景色がたくさんあり、多くの画家に描かれています。近郊のイル・ド・フランスの田舎の方が私は好きです。

最近では便利になり、クックの時刻

表を買わなくてもINでパリからの鉄道時刻が全部調べられます。

また、現地の地図やスケッチポイントなども、PCで調べてほしいの目安を付けてから行きます。

今回は、シャルトルと念願だったモレ・シユル・ロワンへ行きました。シャルトルは3回目ですが、何回行っても飽きません。『雪の日のシャ

ルトル』という迷作は、昨年1月の時のもので、すぐ売れてしまったので、残っているのは写真だけです。

モレは印象派のシスレーが居を構えた村で有名ですが、パリ・リヨン駅から南南東へ電車で1時間、駅から20分歩くと村の城門が見えてきます。ヨーロッパの田舎街は、城壁に囲まれて道や建物が昔のまま残され

ているところが多いですが、フランスは貧乏国なので、地上げや再開発するお金が無かったせいですね。

この静かなのんびりした村で、何枚かスケッチしましたが、風景の中に溶け込んでしまうというか、描いていると本当に時間が止まってしまいますね。忘我極参加でした。

ひとりぼっちの高齢者をなくそう はね返そう——高齢者医療改悪



「ひとりぼっちの高齢者をなくそう」をスローガンに横浜で開かれた第21回日本高齢者大会には、全国から約5000人が参加。県職労連退職者こだま会からはのべ17人が参加し、学習と交流を深めました。参加者の感想をお届けします。



全体会

全体会

■老人よ、怒れ！

来年4月から、75歳以上だけを「後期高齢者」として現在の医療制度から切り離し、独立した保険にして強制加入させ、医療を制限し、保険料は年金から死ぬまで天引きする。こんなひどい内容の高齢者医療を、「みんなに知らせ、中止・撤回させよう」と9月17日から18日、パシフィコ横浜で第21回日本高齢者大会が開かれ、全国から5千人が集まりました。

高齢者をじゃま者扱いにする冷たい仕打ちの自公政治を打ち破り、健康で暮らしやすい平和な日本をつくろうと、各地のとりくみを語り合い、「老人よ、怒れ」と、基調講演のなだ・いなだ氏に励まされ、まず私たちが反対運動の先頭に立とうと「決議」「アピール」を採択しました。



トランペットで『千の風になつて』『やとつきび畑』『花』のメロデーが流れるなか、年配の男・女が詩を朗読。「60年も前のことでした／あなたに会ったのは／それから結婚・母親になつて夫に先立たれた夜／あなたがはげましてくれました／孫たちよ／私たちの思いを受け取って平和に育ってほしい／日本国憲法よ」来年、元気でまた会うことを誓って閉会しました。(鈴木三郎)

学習講座・分科会

■戦争による地球破壊ノ1

開港150年を迎える横浜で、記念すべき年に第21回日本高齢者大会が開催され、神奈川県実行委員長の片野憲二氏を始め、関係諸機関に深く敬意を表したい。

後期高齢期に片足を掛ける小生には、すべて興味のある学習講座であり、選ぶのに迷った。

増田善信講師の82歳とまでは思えない張りのある声での講義『地球温暖化と異常気象』は非常に感銘を受けた。戦争による地球破壊を止め、世界平和の輪を広げなければならぬと強く感じた。

農学博士・大嶋茂男講師の『地球温暖化と世界のエネルギー・食糧問題』では、人間生存の危機等、大変重大な事態になる可能性が生じるとの講義に、私たち一人ひとりが利己的人間ではなく、社会的人間になる生活習慣を身につける運動を展開しなければならぬと感じた。

男性機能の有効期限切れを迎えた小生には、堀口雅子講師の『高齢期の性』も受講し、余生を心豊かに生きる勇気が湧き出るものを授かった。(稲本春雄)

■高齢者の生活実態がリアルに

『高齢者の家計・貯金・生活・健康・住環境などの状況』『医療制度改革と高齢期運動』の学習講座に参加した。

資料「厚生行政基礎調査」をはじめ内閣府の種々の意識調査等(46点もの資料)を見ながら、高齢者の生活実態がリアルにわかりやすく全体像をつかむことができた。

いま75歳以上の人は、終戦時は12歳以上。学童疎開や勤労動員、東京・横浜の大空襲など辛い体験をし、食糧難のなかを生き抜き、戦後日本の復興に貢献してきた世代を、政府はまだ苦しめるのか!

袋の中に『医療費の窓口負担をぞ (7面へ続く)

(6面から続く)

ロへ」というシンポジウムを知らせるビラがあった。なんとそこには、イギリス・フランス・ドイツ・デンマーク・ベルギー・イタリア…、世界では医療費の窓口負担は「ゼロ」は当たり前です——と。「目からうろこ」のショック。日本も先進国のはず。保険制度のないアメリカの後追いでなく、ヨーロッパを見習えと政府に堂々と要求すればいいのだと納得した。

(虹川弘子)

お金持ちはホテルのような有料老人ホームに入って、介護保険制度で保険料の10倍の上等な介護をうけ、お金がない人は介護サービスをとがまんし、保険料を取られるだけ。

このまま推移すると、団塊の世代の介護が本格的になる20年後には、後期高齢者医療保険料と介護保険料は超高額になり、介護報酬の支払いは不可能に、福祉・介護・医療の複合難民が大量に放り出されるのではと心配です。

☆ ☆ ☆
そこで、いくつかの介護施設を見てきました。公共の介護施設は？



「老人の力がいまま大 きな力」と題して演 講した。氏 名・い なだ

■ 高齢期が人間らしく

あるために

『高齢者のくらしと人権保障』『庶

4人の相部屋方式が中心。良心的な医療法人の施設はトイレ・洗面・簡単な厨房が各室に備えてあったが、占有面積が狭いのが難点でした。

人気のある有料老人ホームはどこも順番待ちです。さらに施設建設が抑制され、これ

から大幅に増えることはありませぬ。

私たちの幼年期頃までは大家族での生活が一般的で、祖父母・きょうだい・孫の三世代がひとつ屋根の下で、ひとつの「釜」で暮らしていました。幼児の面倒は老人たちの片手間の仕事としてゆだねられ、

民にとつての最低保障年金制度』の教室に参加しました。

はじめに「貧困・抑圧・戦争という戦前レジュームを生きてきた高齢者は、現憲法に規定されている平和条項や民主条項を無償のまま次世代に引き渡すという、人間としての義務を果たすことが求められている」と話されました。

高齢期が人間らしくあるための条件は、①一生かけてやれる自分のライフワークがあること。②安心して

老人の面倒は主に長男の嫁の肩に担わされてきました。こうしたかつての大家族制がすべて良いとは言えませんが、現役時代をのりこえた世代が終の棲家として自らの家族を呼び寄せて、多世代住宅を再現するのもいいでしょう。

元気なうちに 老老介護のステージを

☆ ☆ ☆
そこで提案です。いとこ同士や気のあった仲間と新しい大家族を構成し、肩を寄せ合い、力と知恵を出し合っ

合って、介護保険の制度も使いながら、支えあう生活をしたらどうなるでしょうか。食堂・洗濯場・風呂などはなるべく共用にして、個人の部

暮らせる住まい、家族があること。③一生つき合える友人と地域社会があることの3点です。本当に大事なことだと思いました。

最低保障年金制度については、いろいろな要求と問題を持ち寄り、大いに語り合い、議論を深めながらさまざまな運動にとりくんで、1日も早く最低保障年金制度を実現させようと、誓いあいました。

(宮下 光)

屋は思いっきり広くする。

ヨーロッパではこうした「老人の合宿マンション」のようなコレクティブハウスがたくさんつくられているそうです。お金持ちでなくても、元気なうちから「老老介護のステージ」でお手伝いをしていたなら、それが自身に戻ってくる、そんな場所をつくったらどうでしょう。

老人の合宿所、寮みたいな施設で簡単な診療施設や看護師・介護士の詰め所も備え、読書ルーム・音楽室なんかもあったら最高と思うのです。私の夢で終わるのでしょうか。

(鳥居伸太郎)

☆ ☆ ☆
*なお、詳細は「こだま会」ホームページでご覧ください。スケッチ画は河合幹彦さんの作品です。

投稿

収穫時の感触は 忘れられない

我が家の前に貸農園がある。自分も借りて今年で3年。

いま振り返ると、夫より「畑の草取りを手伝って」と一言いわれ、自分もその気になっていたが、その夫が体調をくずし



畑には一歩も出なくなつた。自分に全部できる不安がある。夫のこの心配もあるが、頑張ってみる。

肥料・種・苗床など、本等を参考にし、畑の仲間に聞いたりもする。ナス・キュウリ・トマトなど毎日、畑を見たり、苗の様子を見たり、他

の畑の苗と比べたり、楽しみだ。

また思ったより何事もなく、収穫時の感触は忘れられない。収穫が重なるかと一度に山積みになり、隣近所に「食べてね」と持っていったりする。

そんな畑にも秋の野菜・白菜・大根・キャベツなどが、畑一面に広がっている。来年も頑張ります。
(玉井アツ)

重税・年金・医療・平和などに全力

金、医療、介護などの課題に対する

自治労連全国大会前日の8月19日、

全国自治体退職者会連絡会の第10回総会が神戸市国際会館で全国から25組織、53人の参加者により開催され、次の活動方針を決定しました。

〈活動方針の骨子〉

◇ 私たちの主な要求である重税、年

とりくみを強める。

◇ 憲法9条をはじめとする平和と民主主義に関する闘いなど、情勢に見合った各地域のとりくみに参加する。

◇ 独自のとりくみとして退職者組織全国4団体の活動参加と『連絡会つうしん』の充実を図る。

全国自治体退職者会連絡会総会



神戸で開かれた全国自治体退職者連絡会第10回総会

◇ 団塊世代の退職者の組織化と役員の後継者づくりを系統的に進める。

また、役員には加藤事務局長が連絡会事務局次長に引き続き選任されました。
(加藤利秋)

◇ お詫びと訂正

前号「こだま俳壇」(5・6月句会)3句目、中村桂子さんの句

ごあんない 県職員9条の会 平和のつどい(仮)

日時: 12月7日(金) 午後6時45分開会
場所: かながわ県民センター 2階大ホール
内容: 講演 「アジアから見た日本国憲法第9条」(仮)
講師 朴慶南さん(作家)
参加費: 500円(資料代)
連絡先: 県職労連TEL045(212)3179

に誤りがありました。次の句に訂正しおわび致します。
「水面より背伸びして見ゆ稲の苗」

編集 後記

◆ 7月の参議院選で与野党逆転。安倍首相はついに政権を放り投げ辞任。跡を継いだ福田首相は「与党のみなさんの声を聞いて」と低姿勢? ◆

来年4月スタートの予定の後期高齢者医療制度では「凍結論」も出てきた。凍結はいつれ解凍になる

◆ 「撤回」と高齢者医療の充実をめざして、私達は署名運動を開始。老人の怒りの声を大きく、急いで広げよう(と)